

CF2
3
07

一
共十六本

東 京 圖 書 館	
新 門	一 四
部	一 五
類	四 九 八 號

官 佛 蘭 西
法 民
法 一
十 二

明治三十年未刊行

文部少博士箕作麟祥口譯

引士筆筆受

佛蘭西

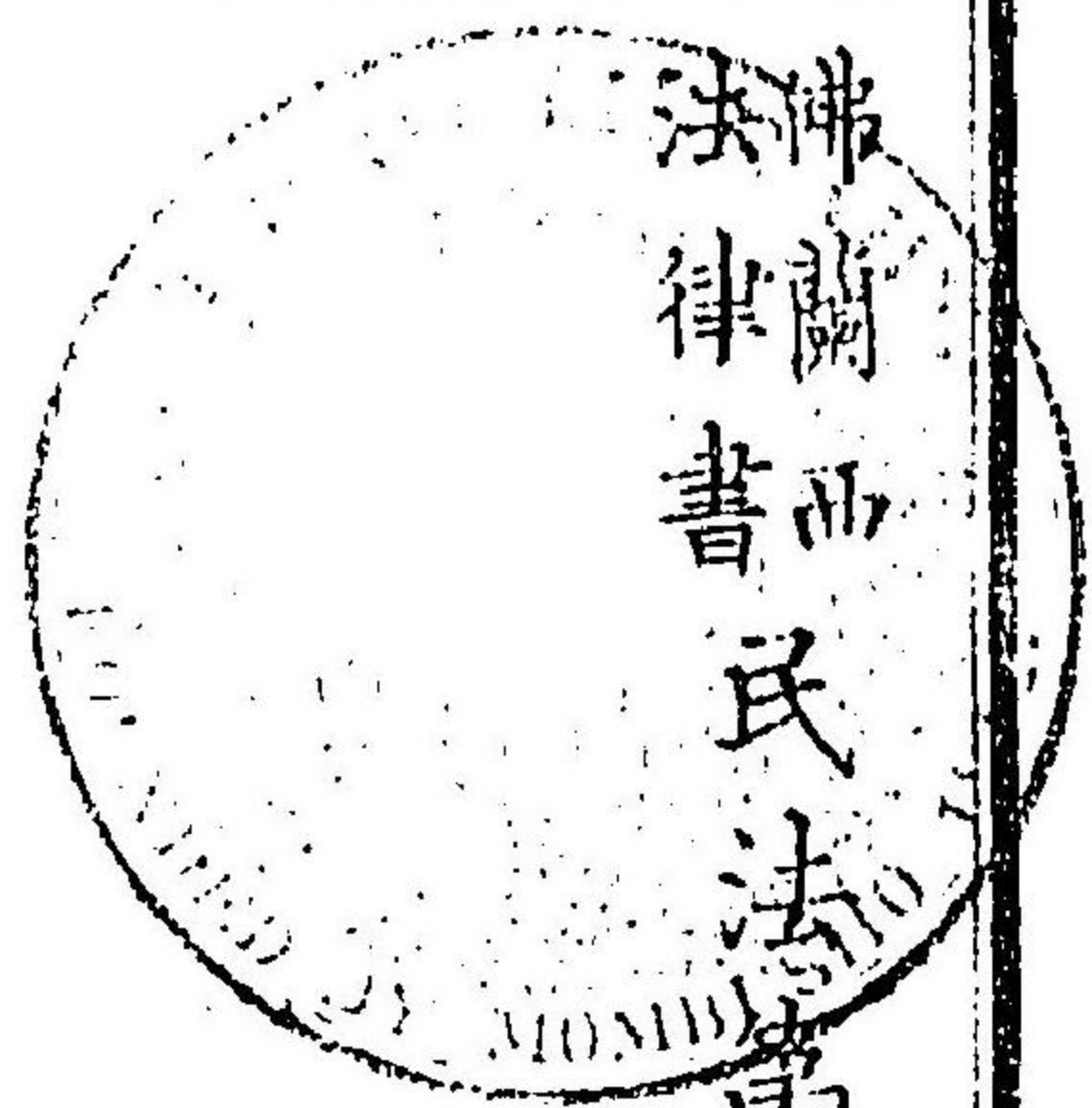
法律書

民法

文部省

CF: 307

佛蘭西民法第十二



明治三十年未刊行

文部少博士箕作麟祥口譯

○第六卷 賣買(千八百四)年第三月六日決

定同月十六日布告

○第一章 賣買ノ本義及ヒ法式

第十五百八十二條 賣買トハ一方ヨリ物件ヲ

渡シ他ノ一方ヨリ其價ヲ拂フ可キノ契約ヲ

云フ

佛蘭西民法

第三卷第六章第一章

一 七 頁

CF2
3
07

明治三十年未刊行

文部少博士箕作麟祥口譯

辻士革筆受

仏蘭西

法律書

民法

文部省

佛蘭西民法第十二



文部少博士箕作麟祥口譯

明治九年文部省發行

第六卷 賣買(千八百四四年第三月六日決

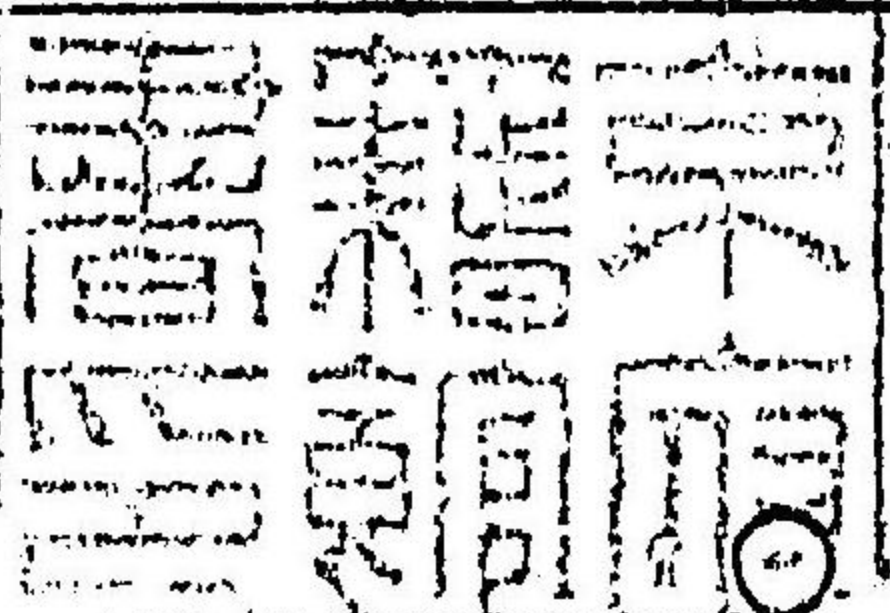
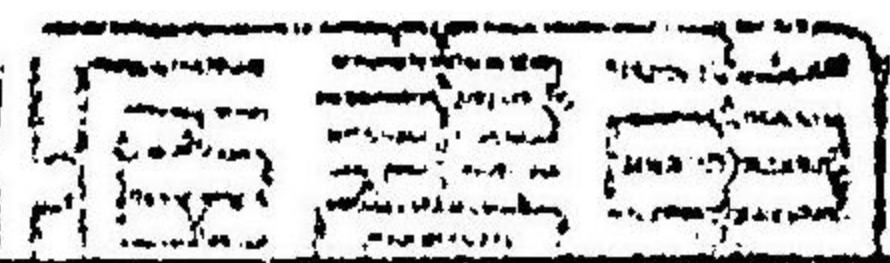
定同月十六日布告)

○第一章 賣買ノ本義及ヒ法式

第十五百八十二條 賣買トハ一方ヨリ物件ヲ

渡シ他ノ一方ヨリ其價ヲ拂フ可キノ契約ヲ

云フ



佛蘭西民法

第三卷第六卷第一章

一

文部省

賣買ハ公正ノ證書ヲ以テ之ヲ為シ又ハ私ノ證書ヲ以テ之ヲ為スヲ得可シ

第一千五百八十三條 一方ヨリ未タ物件ヲ渡ス
コナク且他ノ一方ヨリ其價ヲ拂フコナシト
雖モ其物件ト其價トヲ互ニ協議シタル上ハ
其雙方ノ間ニ於テ賣買ヲ為シ了リタルモノ
トシ買主ハ賣主ニ對シテ其物件所有ノ權ヲ
得可シ

第一千五百八十四條 賣買ハ別段ノ約束ナク之
ヲ為スコトヲ得又ハ義務ノ執行ヲ停止スル未

必ニ條件第一千五百八十四條及ヒ義務ヲ解除スル未
必ノ條件第一千五百八十四條ニ管スル約束ヲ以テ之
ヲ為スコトヲ得可シ

又賣買ハ二箇又ハ二箇以上ノ物件中ニテ其
一ヲ擇ム可キノ約束ヲ以テ之ヲ為スコトヲ得
可シ

此中何レノ場合ニ於テモ賣買ノ契約ノ効ハ
此篇第三卷ノ契約ニ記シタル一般ノ規則ヲ以
テ之ヲ定ム

第一千五百八十五條 商品ヲ一纏メト為シテ賣

ルコナク之ヲ度量シ又ハ之ヲ算計シテ賣ラ
 ントスル時ハ之ヲ度量シ又ハ算計スルニ至
 ル迄ノ間賣主其物件ヲ己ニ擔當ス可キニ因
 リ其賣買ヲ為シ了リタルモノト為ス可カラ
 ス但シ賣主契約ノ如ク執行ハサルコトアル時
 ハ買主其商品ノ引渡ヲ得ント訴ヘ又別段ノ
 道理アルニ於テハ損失ノ償ヲ得ント訴フル
 コトヲ得可シ

第一千五百八十六條 又商品ヲ一纏メト為シテ
 賣リタル時ハ未タ之ヲ度量シ又ハ算計セス

ト雖凡其賣買ヲ為シ了リタルモノトス可シ
 第一千五百八十七條 葡萄酒又ハ油又ハ總テ買
 入ル、前ニ味ヲ試ム可キ習慣アル物品ニ付
 テハ買主其試ミヲ為シ承諾シタル上ニ非レ
 ハ賣買ヲ為シ了リタルコトナントス
 第一千五百八十八條 先ツ物品ヲ試ミタル上ニ
 テ之ヲ買入ル可キ約束アル賣買ハ義務ノ執
 行ヲ停止スル未必ノ條件ニ管シタル約束ヲ
 以テ為シタルモノト為ス可シ

第一千五百八十九條 雙方ノ者其賣買ス可キ物

品ト其價トヲ互ニ協議シタル上ハ賣拂ノ約
東ノミニテ既ニ賣買ヲ為シタルニ等シキ効
アリトス

第一千五百九十條 手附金ヲ出シテ賣買ノ契約
ヲ為シタル時其契約ヲ為シタル一方ノ者左
ノ條件ヲ行フニ於テハ其契約ヲ取消ス可
得可シ

手附金ヲ渡シタル者ハ其手附金ヲ己ノ損
失ト為ス事

手附金ヲ受取リタル者ハ其手附金ノ二倍

ヲ返ス事

第一千五百九十一條 賣買ノ價ハ賣買ヲ為ス雙
方ノ者之ヲ定ム可シ

第一千五百九十二條 然ルニ雙方ノ者ハ其評價ヲ
他人ノ裁斷ニ任カスルヲ得可シ但シ此場
合ニ於テ他人其評價ヲ為ス可シ欲セス又ハ
評價ヲ為ス可シハサル時ハ賣買ノ契約ナシ
トス可シ

第一千五百九十三條 賣買ノ證書ノ費用及ヒ其
他賣買ニ付テノ費用ハ買主之ヲ擔當ス可シ

○第二章 賣買ヲ為シ得可キ人ノ事
 第一千五百九十四條 法律上ニテ別段禁止スル者ニ非サレハ如何ナル人ト雖モ賣買ヲ為ス可キ得可シ

第一千五百九十五條 賣買ノ契約ハ左ノ三個ノ場合ノ外夫婦ノ間ニ為ス可キ得ス

第一 夫婦中ノ一方裁判所ノ言渡ヲ得テ財産ヲ分チタル他ノ一方ニ對シ義務ヲ盡クス為メ財産ヲ讓リ渡ス場合

第二 夫婦財産ヲ分チタルト否トヲ問

ハス夫其婦ノ不動産ヲ賣拂フテ得タル代金又ハ其婦ノ金高ヲ利益トナル可キ法方ニ用フル等ノ如ク總テ正當ノ原由アリテ其婦ニ自己ノ財産ヲ讓リ渡ス場合但シ其婦ノ不動産又ハ金高ヲ夫婦共通スル時ハ格別ナリトス
 第三 婦其財産ヲ夫ト共通セサル時嫁資トシテ持來ル可キヲ約シタル金高ニ代ヘ其財産ヲ夫ニ讓リ渡ス場合
 此三箇ノ場合ニ於テ夫婦竊ニ其私利ヲ計リ

タル時ハ其遺物相續人已ノ權利ヲ保護ス可
キノ訴ヲ為スヲ得可シ

第一千五百九十六條

後見人ハ其後見ヲ受クル者ノ財産

名代人ハ本人ニ代リテ賣拂フ可キノ任

ヲ受ケタル財産

「コムミエーレン」ノ支配人及ヒ公ノ建造物

ノ支配人ハ其支配スル「コムミエーレン」ノ

財産又ハ公ノ建造物ニ属スル財産

官ニ属スル財産賣拂ノ任ヲ受ケタル官

吏ハ其財産

此等ノ者ハ此等ノ財産ヲ自カラ買入ル、

ヲ得ヌ又人ノ介入ヲ以テ買入ル、

ヲ得令之ヲ買入レタルト雖モ其効ナカル可シ

第一千五百九十七條 裁判役及ヒ其代人

「テールビグリツク」裁判所ノ書記官、門監、代書

師、訴訟ノ代言人、^下ノ「テール」等ハ其職務ヲ行フ

裁判所ノ所轄タル訴訟ヲ為スノ權ヲ買受ク

ル「テール」得ヌ縱令之ヲ買受クルト雖モ其買受

ノ効ナク且相手方ニ裁判所ノ費用ト損失ノ

高トヲ償フ可シ

○第三章 賣拂フヲ得可キ物件

第一千五百九十八條 通常賣買ヲ為ス物件ハ總テ之ヲ賣拂フヲ得可シ但シ別段ノ規則ニ因リ其賣拂ヲ禁シタル時ハ格別ナリトス

第一千五百九十九條 賣主自己ノ所有ニ非サル物件ヲ賣拂フタル時ハ其賣拂ノ効ナカル可シ但シ此場合ニ於テ買主其物件賣主ノ所有ニ非サルヲ知ラサル時ハ其賣主ニ對シ損失ノ償ヲ得ント訴フルヲ得可シ

第一千六百條 生存スル人ノ遺物相續ヲ為スノ權ハ縱令其人ノ承諾アリト雖モ之ヲ賣拂フヲ得ス第一千三百三十一條見合

第一千六百一條 賣拂フ可キ契約ヲ為シタル物件ノ全部其賣拂ノ時ニ至リ滅盡シタルニ於テハ其賣買契約ノ効ナカル可シ又其物件ノ一部滅盡シタル時ハ買主全ク其賣買ノ契約ヲ廢シ又ハ評價人ヲシテ其現存スル部分ハ價ヲ定メシメ之ヲ得ント求ムルヲ自由ナリトス

○第四章 賣主ノ義務

○第一款 總規則

第一千六百二條 賣主ハ其義務ヲ詳カニ説明ス可シ

意味ノ分明ナラス又ハ疑ハシキ契約ノ文詞ハ皆賣主ノ損失トナル可キ法方ニ之ヲ解釋ス可シ

第一千六百三條 賣主ノ為メニ重大ナル義務ニ箇アリ其一ハ賣拂フタル物件ヲ引渡ス可キノ義務又一ハ其物件ヲ保證ス可キノ義務ナ

リ

○第二款 引渡ノ事

第一千六百四條 物件引渡トハ賣拂フタル物件ヲ買主ニ委附シ之ヲ其所有ニ移スヲ云フ

第一千六百五條 不動産ヲ引渡ス可キ義務家屋ニ管シタル時ハ賣主ヨリ買主ニ其鑰ヲ渡シタルニ因リ又土地ニ管シタル時ハ其所有ノ證書ヲ渡シタルニ因リ賣主ヨリ買主ニ對シテ其義務ヲ盡クシタルト為ス可シ

第一千六百六條 動産ノ引渡ハ左ノ法方ヲ以テ

之ヲ為ス可シ

第一 現ニ其動産ヲ渡ス事

第二 其動産ヲ入置キタル家屋ノ鑰ヲ

渡ス事

第三 賣買ノ時其動産ヲ運送スルヲ能

ハス又ハ買主賣買ニ非サル名義ヲ以

テ既ニ其動産ヲ己ノ有ト為シタル場

合ニ於テハ賣主ト買主ト協議シタル

事

第一千六百七條 權利ノ引渡ハ證書ヲ渡ス事又

ハ買主賣主ノ承諾ヲ得テ其權利ヲ行フ事ニ
因リ之ヲ為ス可シ

第一千六百八條 引渡ニ付テノ費用ハ賣主之ヲ

擔當ス可ク又運送ノ費用ハ買主之ヲ擔當ス

可シ但シ之ニ反シタル契約アル時ハ格別ナ

リトス

第一千六百九條 引渡ハ賣拂ノ時其物件所在ノ

場所ニテ之ヲ為ス可シ但シ之ニ反シタル契

約アル時ハ格別ナリトス

第一千六百十條 賣主其所為ニ因リ嘗テ買主ト

協議セシ期限内ニ物件ヲ引渡スルヲ遅延シ
タルニ於テハ買主其賣買ノ契約ヲ取消サシ
ト訴ヘ又ハ其物件ヲ已ノ所有ト為サント訴
フルヲ自由ナリトス

第一千六百十一條 何レノ場合ニ於テモ賣主買
主ト嘗テ協議セシ期限内ニ其物件ヲ引渡サ
サルニ因リ買主ノ為メ損失ヲ生スル時ハ其
賣主買主ニ損失ノ償カ為ス可キノ言渡ヲ受
ク可シ

第一千六百十二條 買主賣主ニ代金ヲ拂フナ

ク且賣主ヨリ其拂方ノ猶豫ヲ買主ニ許シタ
ルナキ時ハ賣主ヨリ買主ニ其物件ヲ引渡
スニ及ハス

第一千六百十三條 賣買ノ契約ヲ為シタル後買
主家資分散ヲ為シ又ハ産業ヲ破リタルニ因
リ賣主其代金ヲ損失ス可キノ危急ナルニ於
テハ縱令賣主其代金ヲ受取ルニ付テハ猶豫
ヲ買主ニ許シタル時ト雖モ賣主買主ニ其物
件ヲ引渡スニ及ハス但シ買主ヨリ賣主ニ對
シ預定ノ期限ニ至リ必ス其代金ヲ拂フ可キ

ノ保證人ヲ立テタル時ハ格別ナリトス
第一千六百十四條 總テ引渡ス可キ物件ハ賣買
ノ契約ヲ為シタル時ノ景狀ノ儘之ヲ引渡ス
可レ

其契約ノ時ヨリ後ニ其物件ヨリ生スル所ノ
利益ハ買主ニ屬ス可レ

第一千六百十五條 物件ヲ引渡ス可キ義務アル
時ハ其物件ニ附從シタル物及ヒ總テ其物件
ヲ永ク使用スル為メ具ヘタル諸件ヲモ亦引
渡ス可レ

第一千六百十六條 總テ賣主ハ賣買ノ契約書中
ニ記載シタル物件ノ總高ヲ引渡ス可レ但シ
此事ニ付テハ後ノ數條ノ規則ニ循フ可レ

第一千六百十七條 不動産賣買ノ契約書ニ其不
動産ノ方積ト其一區ニ付テ價幾許ノ割合ト
ヲ記シタル時買主其契約書ニ記シタル如キ
方積ヲ得ント求ムレニ於テハ賣主ヨリ之ヲ
引渡ス可レ

若シ賣主其契約書ニ記シタル如キ方積ヲ渡
スヲ能ハサル時又ハ買主之ヲ得ント求ムル

ル時ハ賣主其契約書ニ記シタル所ノ方積ト
現ニ在ル所ノ方積トノ差ニ准シテ其價ヲ減
ス可シ

第一千六百十八條 若シ又前條ノ場合ニ於テ契
約書ニ記セシヨリ其方積更ニ多分ニシテ其
餘分ノ積契約書ニ記シタル積ニ過クルト二
十分一以上ナル時ハ買主其價ノ增高ヲ與フ
ルヲ又ハ其契約ヲ取消スヲ自由ナリトス

第一千六百十九條 總テ其他ノ場合即チ前二條
合フ云フ

一箇ノ定マリタル不動産ノ賣買ヲ契約
シタル時

互ニ分別シテ且ツ離隔シタル不動産賣
買ノ契約ヲ為シタル時

不動産ヲ定ムル前ニ先ツ之ヲ度量シテ
其賣買ノ契約ヲ為シタル時又ハ先ツ其
不動産ヲ定メタル上ニテ之ヲ度量シ其
賣買ノ契約ヲ為シタル時

此場合ニ於テハ其度量ヲ契約書ニ記シタル
ト雖モ現ニ在ル所ノ不動産ノ方積契約書ニ

記レタル方積ヨリ多ク又ハ少ナキト不動産
 全價ノ二十分一以上ノ差異アルニ非サレハ
 其餘分ニ付キ賣主ノ為メニ其價ヲ増ストナ
 カル可ク又不足ニ付キ買主ノ為メニ其價ヲ
 減スルトナカル可レ但レ賣主ト買主ト別段
 ノ契約ヲ為レタル時ハ格別ナリトス
 第一千六百二十條 前條ニ循ヒ不動産ノ方積ノ
 餘分ナルニ付キ價ヲ増ス可キ時ハ買主其契
 約書ヲ取消スト又ハ價ノ增高ヲ與フルト自
 由ナリトス但レ買主其不動産ヲ己ノ方ニ保

チ置キタル時ハ價ノ增高ト共ニ其息銀ヲ拂
 フ可レ

第一千六百二十一條 買主賣買ノ契約ヲ取消ス
 可キノ權アル場合ニ於テハ賣主其受取リタ
 ル代金ト其契約ヲ為スニ付テノ費用トヲ買
 主ニ返ス可レ

第一千六百二十二條 賣主價ノ增高ヲ求ムルノ
 訴訟及ヒ買主價ヲ減レ又ハ契約ヲ取消ス
 ヲ求ムルノ訴訟ハ其契約書ヲ記シタル日ヨ
 リ一年内ニ之ヲ為ス可ク然ラサレハ其訴訟

ヲ為スノ權ヲ失フ可シ

第一千六百二十三條 一通ノ契約書ニ據リ且相合シタル價ヲ以テ二箇ノ不動産ヲ賣拂ヒ其二箇ノ不動産ノ度量ヲ契約書ニ記シタル時其一箇ノ不動産ノ方積ハ契約書ニ記シタル積ヨリ少ナク他ノ一箇ノ不動産ノ方積ハ契約書ニ記シタル積ヨリ多キニ於テハ其多少ノ方積匹敵スルニ至ル迄互ニ相殺ス可シ但シ其價高ヲ増シ又ハ減ス可キノ訴訟ハ前ノ數條ニ記載シタル規則ニ循テ之ヲ為ス可シ

第一千六百二十四條 賣拂フタル物ヲ引渡ス前

ニ其物ノ滅盡シ又ハ毀壞シタルノ責賣主ニアル可キヤ又ハ買主ニアル可キヤヲ知ルニ付テノ規則ハ此編第三卷ノ契約ニ記載シタル所ニ循フ可シ

○第三款 賣主其賣拂フタル物件ヲ買主ニ對シテ保證スル事

第一千六百二十五條 賣主ヨリ買主ニ對シテ為ス可キ保證ハ二箇ノ目的アリトス但シ其一ハ其賣拂フタル物件ヲ買主ノ所有スルニ付

キ阻害ナキノ保證ヲ為ス事又一ハ其物件ニ
知リ得ルヲ能ハサル不良ノ所アラサルノ保
證ヲ為ス事ナリ

○第一節 買主他人ヨリ訴訟ヲ受
ケ其買入レタル物件ヲ奪ハル
ルヲナキ旨ヲ賣主ヨリ保證ス
ル事

第十六百二十六條 賣買ノ時ニ賣主ノ保證ニ
付キ別段契約ヲ為サスト雖モ買主其買入レ
タル物件ノ全部又ク一部ヲ他人ヨリノ訴訟

ニ因リ奪ハル、トナキ旨又ハ其物件ニ付キ
賣買ノ時契約書ニ記セサル負債ハ買主擔當
スルニ及ハサル旨ヲ賣主ヨリ買主ニ對シテ
保證ス可シ

第十六百二十七條 然モ賣主ト買主ト雙方互
ニ別段ノ契約ヲ結ビ賣主ヨリ買主ニ對シテ
為ス可キ當然ノ保證ニ付キ其義務ヲ増シ又
ハ其義務ヲ減ス可キヲ約シ又ハ賣主全ク
其保證ヲ為スヲナカル可キ旨ヲ約スルヲ
得可シ

第一千六百二十八條 賣主買主ニ對シテ同上ノ保證ヲ為スニ及ハサルコトヲ別段約シタル時ト雖モ賣主其一身ノ所為ニ因リ生シタル諸件ニ付テノ保證ヲ為サルヲ得ス但シ之ニ及シタル契約ハ其効ナカル可シ

第一千六百二十九條 又賣主同上ノ保證ヲ為スコトナカル可キ旨ヲ契約シタル時ト雖モ買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其買入レタル物件ヲ奪ハルニ於テハ賣主ヨリ買主ニ其代金ヲ返ス可シ但シ買主賣買ノ契約ヲ為シタル時後

ニ其物件ニ付キ他人ヨリ訴訟ヲ受ケ之ヲ奪ハル可キノ恐レタルコトヲ既ニ知リタル時又ハ物件ヲ買入タル後之ヲ失フコトアリトモ其損失ヲ總テ己ニ擔當ス可キノ約束ヲ以テ買入タル時ハ格別ナリトス

第一千六百三十條 賣主買主ニ對シテ保證ヲ約シタル時又ハ保證ノ事ニ付キ別段契約ヲ為シタルコトナキ時後ニ買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其買入タル物件ヲ奪ハレタルニ於テハ買主ヨリ賣主ニ對シ左ノ諸件ヲ得ント訴フル

ノ權アリ

第一 代金ノ返還

第二 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ其買入

タル物件ト共ニ其物件ヨリ生シタル

利益ヲ奪ハレタル時ハ其利益ノ償還

第三 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケタル時

其保證人タル賣主ヲ其訴訟ニ參セシ

ムル手續ニ付テノ費用及ヒ其訴訟人

ノ費用此費用買主ヨリ既ニ訴訟人ニ償フタルモノ云フ

第四 賣買契約書ノ費用并ニ買主ノ損

失ノ償額

第一千六百三十一條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ

其買入タル物件ヲ奪ハレタル時ハ嘗テ買主

ノ怠リニ因リ又ハ防拒ス可カラサルカアル

意外ノ事ニ因リ其物件ノ價減損シ又ハ其物

件大ニ毀損セシコトアリト雖モ賣主猶其價ノ

總高ヲ返還ス可レ

第一千六百三十二條 然モ買主其物件ヲ毀損シ

タルニ因リ利益ヲ得タル時ハ賣主買主ニ返

還ス可キ代金中ニテ其買主ノ利益トナリタ

ル高ヲ減シ其餘ヲ返還スルヲ得可シ
 第六百三十三條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ
 其買入タル物件ヲ奪ハレタル時嘗テ買主ノ
 所為ニ因ルト否トヲ問ハス其物件ノ價増シ
 タルニ於テハ賣主ヨリ買主ニ其物件ノ賣拂
 代金ノ增高ヲ償還ス可シ
 第六百三十四條 買主其買入タル不動産ヲ
 修理シタル費用又ハ之ヲ良好ニ為シタル費
 用ハ賣主自カラ之ヲ買主ニ償ヒ又ハ其買主
 ニ對シ訴訟ヲ為レテ其不動産ヲ所得トシタ

ル者ヲシテ之ヲ買主ニ償ハシム可シ
 第六百三十五條 賣主若シ不正ノ意ヲ以テ
 他人ノ不動産ヲ賣リタル時ハ買主ノ其不動
 産ニ付キ為シタル總テノ費用ヲ買主ニ償還
 ス可シ但シ買主ノ其不動産ニ付キ歡娛ノ為
 ノナシタル費用ト雖ヒ亦之ヲ償還セサルヲ
 得ス
 第六百三十六條 買主他人ヨリ訴訟ヲ受ケ
 其買入タル物件ノ一部ヲ奪ハレ其一部ヲ全
 部ト比較スルニ極メテ至重ノモノニシテ其

一部ヲ所有ト為スニ非サレハ初ヨリ買主ノ
之ヲ買入レ、トナカル可シト思料ス可キニ
於テハ買主其賣買ノ契約ヲ取消ス、ト得可
シ

第一千六百三十七條 又買主他人ヨリ訴訟ヲ受
ケ其買入タル不動産ノ一部ヲ奪ハレタル時
賣買ノ契約ヲ取消サ、ルニ於テハ其不動産
ノ價ノ増減ニ管ヒス其一部ヲ奪ハレタル時
ノ價ニ准シテ賣主ヨリ買主ニ其一部ノ代金
ヲ償フ可ク賣買ノ時ノ價ニ准シテ之ヲ償フ

可カラハ

第一千六百三十八條 賣拂フタル不動産ニ付キ
人目ニ觸サル土地ノ義務アルニ賣買ノ時
賣主ヨリ買主ニ之ヲ知ラセムルヲナク且其
義務重割ニシテ若シ買主其義務アルヲ知
ラハ初ヨリ其買入ヲ為ス、トナカル可シト思
料ス可キ時ハ買主其賣買ノ契約ヲ取消ス、ト
得可シ但シ買主其契約ヲ取消サ
スレテ唯其損失ノ償ヲ得ニト欲スル時ハ格
別ナリトス

第一千六百三十九條 前數條ニ記スル所ノ外賣

主賣買ノ契約ノ如ク執行ハサルニ因リ買主

ニ對シ償ヲ出ス可キ條件ハ此篇第三卷ノ契約

ニ記シタル一般ノ規則ニ循フ可シ

第一千六百四十條 買主賣主ヲ裁判所ニ呼出ス

トナクシテ終審ノ裁判ヲ受ケ又ハ控訴スル

ト能ハサル確定ノ裁判ヲ受ケ其買入レタル

物件ヲ他人ニ渡ス可キ旨ヲ言渡サレタル時

賣主其訴訟ニ參スレハ原告人ノ申述ヲ拒ム

ニ足ル可キ憑據アルトテ證スルニ於テハ買

主其買入レタル物件ヲ他人ノ為メ奪ハル

ト雖モ賣主其償還ヲ為スニ及ハス

○第二節 賣主其賣拂ノタル物件

ノ不良ナラサル旨ヲ保證スル

事

第一千六百四十一條 賣主ハ其賣拂ノタル物件

ヲ其當然ノ用法ニ供スルト能ハサラシム可

キホリ難キ不良ノ所ナキ旨又ハ買主其不良

ノ所アルトテ知リレ時ハ其物件ヲ買入ル

トナク又縱令之ヲ買入ルト雖モ少量ノ價

ヲ出シタル可シト思料ス可キ不良ノ所ナキ
旨ヲ買主ニ對シテ保證ス可シ

第一千六百四十二條 賣主ハ買主ノ自カラ知ル
コトヲ得可キ不良ノ所アルニ付キ其責ニ任ス
ルニ及ハス

第一千六百四十三條 賣主ハ其賣拂フタル物件
ニ知リ難キ不良ノ所アルコトヲ自カラ知ラサ
ル時ト雖モ猶其責ニ任ス可シ但シ此場合ニ
於テ賣主其責ニ任セザルコトヲ別段契約シタ
ル時ハ格別ナリトス

第一千六百四十四條 第一千六百四十一條及ヒ第
千六百四十三條ノ場合ニ於テハ買主其買入
タル物件ヲ賣主ニ返シテ其價額ノ己ニ取戻
ス事又ハ其物件ヲ己ニ保チ置キ評價人ノ定
メタル所ニ從ヒ其價額ノ一部ヲ己ニ取戻ス
事自由ナリトス

第一千六百四十五條 賣主其賣拂フタル物件ノ
不慮ノルヲ知リ之ヲ賣拂フタル時ハ其受取
リシ代金ヲ返シタル上猶買主ニ其損失ノ償
ヲ為ス可シ

第一千六百四十六條 賣主其賣拂フタル物件ノ不良ナルヲ知ラスシテ之ヲ賣拂フタル時ハ其代金ヲ返シ且買主ノ買入ニ付テ出シタル費用ヲ償フノミトス

第一千六百四十七條 不良ナル物件其質ノ惡キニ因リ滅盡シタル時ハ賣主其損失ヲ擔當シテ買主ニ其代金ヲ返シ且前二條ニ記シタル償ヲ為ス可シ

然ル同上ノ物件意外ノ事ニ因リ滅盡シタル時ハ買主其損失ヲ擔當ス可シ

第一千六百四十八條 賣拂フタル物件ニ不良ノ事アルニ因リ賣買ノ契約ヲ取消サントスル訴訟ハ其不良ナル事ノ種類ト其賣買ヲ為シタル地ノ習慣トニ從ヒ買主相當ノ期限内ニ之ヲ為ス可シ(千八百三十八年第五月二十日ノ法ヲ以テ改ム)

第一千六百四十九條 前條ニ記シタル所ノ訴訟ハ裁判所ノ權ヲ以テ為シタル賣拂ニ付キ之ヲ為ス可カラス

○第五章 買主ノ義務

第一千六百五十條 買主ノ至重ノ義務ハ賣買ノ契約書ニ定メタル日ト場所トニ於テ其代金ヲ拂フ可キヲナリトス

第一千六百五十一條 賣買ノ契約書ニ別段前條ノ事ヲ規定レタルトナキ時ハ買主賣主ヨリ其物件ノ引渡ヲ得タル時ト場所トニ於テ其代金ヲ拂フ可シ

第一千六百五十二條 左ノ三箇ノ場合ニ於テハ買主賣主ニ價ノ母銀ヲ拂フニ至ル迄其息銀ヲ出ス可シ

第一 賣買ノ契約書ニ別段同上ノ事ヲ記シタル時

第二 賣主其賣拂フタル物件ヲ引渡シタル後其物件ヨリ入額ヲ得タル時

第三 買主其代金ヲ拂フトテ怠リタルニ因リ賣主ヨリ之ヲ受取ルハキノ催促ヲ受ケタル時
但シ此末ノ一項ニ記シタル場合ニ於テハ賣主ヨリ買主ニ代金ヲ得ント催促シタル時ヨリ以來其息銀ヲ生ス可

第十六百五十三條 買主其買入レタル物件ニ
 付キ之ヲイボテークトシテ得タル者ヨリ訴
 訟ヲ受ケ又ハ其物件ノ正當ノ所有者ヨリ之
 ヲ取戻サントスル訴訟ヲ受ケタル時又ハ此
 等ノ訴訟ヲ受ケ可レト思料ス可キ道理アル
 時ハ賣主其訴訟ノ原因ヲ除去スルニ至ル迄
 買主其代金ヲ拂フテ遅延スルヲ得可レ但
 シ賣主ヨリ買主ニ對シ此事ニ付キ保證人ヲ
 立テタル時又ハ縱令買主同上ノ訴訟ヲ受ケ

ルテアリト雖モ其代金ヲ拂フ可キテ預シ
 メ契約シタル時ハ格別ナリトス
 第十六百五十四條 若シ買主代金ヲ拂ハサル
 時ハ賣主其賣買ノ契約ヲ取消サントスル訴
 ヲ為ステ得可レ
 第十六百五十五條 不動産ノ賣主其不動産並
 ニ其代金ヲ共ニ失フ可キノ恐レアル時ハ裁
 判所ヨリ其賣買ノ契約ヲ取消ス可キ旨ヲ即
 時ニ言渡ス可シ
 又同上ノ恐ナキ時ハ裁判役ヨリ其時ノ模様

ニ從ヒ買主ニ多少ノ猶豫ヲ許スルヲ得可シ
買主其猶豫ノ期限間ニ猶其代金ヲ拂フナ
キ時ハ賣買ノ契約ヲ取消ス可キヲ言渡ス
可シ

第一千六百五十六條 不動産賣買ノ時買主ト賣
主ト協議シタル期限ニ買主其代金ヲ拂ハサ
ルニ於テハ其賣買ノ契約ヲ取消ス可キヲ
別段定メ置キタリト雖モ賣主ヨリ買主ニ其
代金ヲ受取ル可キ催促ヲ為サル間ハ嘗テ
協議シタル期限ノ終リニ後ニ至リ買主其代

金ヲ拂フヲ得可シ然レモ賣主ヨリ買主ニ
其代金ヲ受取ラント催促シタル後ハ裁判役
ヨリ買主ニ更ニ猶豫ノ期限ヲ許スルヲ得
ス

第一千六百五十七條 飲食料ノ商品及ヒ「エヒ」
トモドリ「エ」ル第五百三十一條見合セテ賣買ノ契約ニ
タル時ハ真物ヲ引取ル可キ為メ協議シタル
期限ノ終リニ後ニ至リ賣主ヨリ買主ニ其代
金ヲ受取ル可キノ催促ヲ為スルナク其賣買
ノ契約ヲ取消スルヲ得可シ

○第六章 賣買ノ契約ヲ廢棄スル事

第一千六百五十八條 既ニ此卷ニ記載シタル賣買ノ契約ヲ廢棄セシムル原由及ト總テ如何ナル契約ヲモ廢棄セシムル原由ノ外買戻ノ權ヲ行フ事又ハ價ノ少ナキニ過キタル事ニ因リ亦賣買ノ契約ヲ廢棄スルヲ得可シ

○第一款 買戻ノ權

第一千六百五十九條 買戻ノ權トハ賣主其得タル代金ヲ返シ且第一千六百七十三條ニ記スル所ノ償還ヲ為シテ其賣拂フタル物件ヲ取戻

ス可キノ契約ニ因リ生スル所ノ權ヲ云フ

第一千六百六十條 買戻ノ權ハ五年以上ノ期限

間之ヲ行フ可キヲ契約ス可カラズ

若シ五年ニ過キタル期限間其權ヲ行フ可キ

トシテ契約シタル時ハ之ヲ五年ノ期限ニ減ス

可シ

第一千六百六十一條 雙方ノ定メタル期限ハ嚴

ニ之ヲ遵守ス可ク裁判役ヨリ其期限ヲ延ス

トヲ得ス

第一千六百六十二條 賣主預定シタル期限内ニ

買戻シ、要メテ為サ、ル時ハ買主其物件ノ
真ノ所有者トナル可シ

第一千六百六十三條 何レ、人ト雖モ預定ノ期
限内ニ買戻ノ權ヲ行フトナキ時ハ終ニ其權
ヲ失ハ可シ但シ幼者ト雖モ亦同一ニシテ唯
幼者ハ其管照者後見人等ニ對シ其償ヲ得可
キノ訴ヲ為ストテ得可シ

第一千六百六十四條 買戻ノ契約ヲ以テ物件ヲ
賣拂ヲタル者ハ其買主ヨリ更ニ其物件ヲ買
入タル者ニ對シ亦買戻ノ訴訟ヲ為ストテ得

可シ但シ其買主更ニ其物件ヲ賣拂フ時ノ契
約書ニ其買戻ノ權ヲ別段記入シタルトナシ
ト雖モ亦同一ナリトス

第一千六百六十五條 賣主ニ買戻ノ權ヲ授ケル
契約ヲ為シテ物件ヲ買入タル者ハ總テ其賣
主ノ權利ヲ行フトテ得可シ但シ此買主ハ真
正ノ所有者賣主トハ別及ヒ其物件ヲ得ルノ
權又ハ「イボテ」クトシテ其物件ヲ得ルノ權
ヲ有スルト述フル者ニ對シ「プレ」スクリプリ
ヨシノ權ヲ行フトテ得可シ

第一千六百六十六條 前條ニ記スル所ノ買主賣主ノ債主ヨリ其賣主ノ為メニ義務ヲ行フ可キノ要メテ受ケタル時ハ先ツ其賣主ノ財産ヲ以テ其義務ヲ得ルニ充テシメ猶其不足ナル時ニ至リテ其買入レタル物件ヲ渡ス可キ旨ヲ述フルコトヲ得可シ

第一千六百六十七條 賣主ノ他人ト共通セシ不動産ノ一部ヲ賣主ノ為メニ買戻ノ契約ヲ為シテ買入タル者他人ヨリ其不動産糶賣ノ要メテ受ケ其糶賣ニテ其不動産ノ全部ヲ已ニ

買入タル時賣主買戻ノ權ヲ行ハントスルニ於テハ買主賣主ヲシテ其全部ヲ買戻サシムルコトヲ得可シ

第一千六百六十八條 數人其共通シタル不動産ヲ一通ノ契約書ヲ以テ連帶シテ賣拂フタル時ハ各其所有セシ部分ノミニ付キ買戻ノ權ヲ行フ可シ

第一千六百六十九條 又不動産ヲ賣拂フタル者ノ遺物相續人數人アルハ亦前條ニ等シク其各相續人其遺物ノ財産中ニテ已ノ得可キ

部分ノミニ付キ買戻ノ權ヲ行フコトヲ得可シ
 第六百七十條 然レ前二條ノ場合ニ於テ買
 主ハ數人ノ賣主又ハ遺物相續人等ニ對シ其
 不動産ノ全部ヲ買戻スコトヲ互ニ協議ス可キ
 ノ求メテ為スコトヲ得可シ若シ其數人互ニ協
 議セサル時ハ買主其數人中ノ一人ヨリ買戻
 ノ訴訟ヲ受クルト雖モ之ヲ拒ムノ權アリ
 第六百七十一條 數人ニ屬シタル不動産ヲ
 其數人連帶シテ賣ルコトナク各自ニ其所有ス
 ル部分ノミヲ賣リタル時ハ其數人自己ニ屬

シタル部分ニ付キ各自ニ買戻ノ要メテ為ス
 コトヲ得可シ
 此場合ニ於テ買主ハ買戻ノ要メテ為シタル
 賣主ヲシテ其不動産ノ全部ヲ買戻サシムル
 コトヲ得ス

第六百七十二條 買主ノ遺物相續人數人ア
 ル時賣主ノ為メニ買戻ノ契約ヲ為シテ買入
 レル不動産ヲ未タ分派セサル場合并ニ其不
 動産ノ其遺物相續人數人ニ分派シタル場合
 ニ於テハ賣主其各相續人ニ對シ其得タル部

分ノミニ付キ買戻ノ要ヲ為ストヲ得可シ
 然ル其買主ノ遺物財産ヲ分派シ其買入レシ
 不動産ノ全部其相續人中一人ノ所有トナリ
 タル時ハ賣主其相續人中之ヲ相續シタル者
 ニ對シ其全部ノ買戻ノ要ヲ為ストヲ得可
 シ
 第一千六百七十三條 物件買戻ノ權ヲ行フ賣主
 ハ其代金ヲ買主ニ返ス可キノミニ非ス賣買
 ニ付テノ費用及ヒ已ムヲ得サル修理ノ費用
 モ亦買主ニ償ヒ且其物件ノ價ヲ貴ウスルカ

タメ為シタル費用ノ中現ニ其價ヲ貴シシタ
 ル高ク買主ニ償フ可シ○其賣主ハ總テ此等
 ノ義務ヲ行フタル後ニ非レハ其物件ヲ買戻
 ストヲ得ス
 又賣主買戻ノ契約ニ從ヒ其不動産ヲ買戻ス
 時ハ買主ノ其不動産ニ付キ擔當シタル負債
 ヲ全ク滌掃シテ取戻ストヲ得可シ但シ買主
 ノ詐偽ナク其不動産ヲ他人ニ貸貸シタル契
 約ハ其買戻ヲ為シタル賣主モ亦之ヲ遵守ス
 可シ

○第二款 賣主ノ為メ損失アル原由
ヲ以テ賣買ノ契約ヲ廢棄スル事
ニ_二不動産ノ賣買
ニ_一限ル可シ

第一千六百七十四條 賣主其不動産ノ價ニ付キ
十二分ノ七以上ノ損失ヲ受ケタル時ハ賣主
其賣買ノ契約ヲ廢棄セント訴フルノ權アリ
但シ賣買ノ契約書ニ賣主其取消ヲ訴フルノ
權ヲ拋棄セシ旨ヲ記シ且其契約書ニ定メタ
ル價ヨリ更ニ餘分ノ真價アリト雖モ之ヲ買
主ノ所得ト為ス可キ旨ヲ記シタル時ト雖モ

亦同一ナリトス

第一千六百七十五條 賣主ノ為メ十二分ノ七以
上ノ損失アルト知ル可キ為メニハ賣買ノ
時ノ景狀ト價トニ從ヒ其不動産ヲ評價ス可
シ

第一千六百七十六條 賣買ノ日ヨリ二年ノ後ニ
至リテハ賣主ノ為メ損失アルヲ以テ賣買ノ
契約ヲ取消ス可キノ訴ヲ為スヲ許サス
婚姻シタル婦失踪者治産ノ禁ヲ受ケタル者
丁年ノ賣主ノ權ニ代ル幼者ニ付テモ亦此ニ

年ノ時間ヲ以テ同上ノ訴ヲ為ス可キ期限ヲ
リトス

又買戻ノ為メ契約シタル期限ノ間賣主損失
ニ付キ賣買ノ契約ヲ取消ス可キ期限ヲ遷延
スルコトヲ得ス

第千六百七十七條 賣主ノ為メ損失アルノ證
ヲ立ルコトヲ許スニハ別段裁判所ヨリノ言渡
アル事並ニ其賣主ノ述ボル所ヲ以テ其損失
ヲ受ケタル旨ヲ大抵眞實ナリト思料ス可ク
且ツ十分至重ナル事故アルコトヲ必要トス

第千六百七十八條 其證ハ評價人三員ノ申立
ニ因テ之ヲ立ツ可シ但シ其評價人三員ハ相
與ニ一通ノ調書ヲ記ス可ク且其三員中其一
員ノ説ニ其ノ説ト異ナル時ハ其二員ノ説ヲ
以テ全員ノ説ト定ム可シ

第千六百七十九條 其三員ノ説各自相異ナル
時ハ調書ニ其説ノ互ニ相異レル趣旨ヲ記ス
可シ但シ此評價人ノ説ハ云々彼評價人ノ説
ハ云々タルコトヲ記スルヲ許サス

第千六百八十條 評價人三員ハ裁判所ヨリ之

ヲ任ス可シ但シ賣主及ヒ買主ノ雙方其評價
人三負ヲ任スルコトヲ協議シタル時ハ格別ナ
リトス

第六百八十一條 裁判所ニテ賣買ノ契約ヲ
取消サントスル訴ノ如ク允許シタル時ハ買
主其拂フタル代金ヲ己ニ取戻シテ其物件ヲ
賣主ニ返ス事又ハ價ノ總高ノ十分一ヲ減シ
タル上ニテ正當ノ增高ヲ與ヘ其物件ヲ己ニ
保有スル事自由ナリトス
買主ヨリ更ニ其物件ヲ買入ラル者モ亦同上

ノ權アリトス但シ其者ハ以前ノ買主ニ對シ
償ヲ求ムルコトヲ得可シ

第六百八十二條 買主前條ニ定メタル增高
ヲ與ヘ其物件ヲ保有セント欲スル時ハ賣主
ノ其賣買ノ契約ヲ取消サント訴ヘタル日ヨ
リ以來其增高ノ息銀ヲ拂フ可シ
若シ買主其物件ヲ賣主ニ返シ其代金ヲ己ニ
取戻サント欲スル時ハ賣主ノ其契約ヲ取消
スルコトヲ訴タル日ヨリ以來其物件ヨリ得タル
所ノ利益ヲ賣主ニ返ス可シ

又買主ノ拂フタル代金ノ息銀ハ賣主其契約ヲ取消サントスル訴ヲ為シタル日ヨリ之ヲ其買主ニ算計ス可シ又買主其買入タル物件ヨリ生セシ利益ヲ初メヨリ所得ト為サル時ハ其代金ヲ賣主ニ拂フタル日ヨリ以来ノ息銀ヲ算計セシム可シ

第一千六百八十三條 買主ノ為メニハ損失アルヲ以テ其賣買ノ契約ヲ取消ス可カラス
 第一千六百八十四條 法律ニ循ヒ裁判所ノ命令ヲ以テ為シタル賣拂ニ付テハ損失アルヲ以

テ其契約ヲ取消ス可カラス

第一千六百八十五條 數人連帯シテ賣拂ト又ハ各自ニ賣拂フタル場合並ニ買主又ハ賣主ノ遺物相續人數人アル場合ニ付キ前款ニ記シタル規則ハ賣主ノ為メ損失アルヲ以テ其賣買ノ契約ヲ取消ス事ニモ亦通シテ用フ可シ

○第七章 糶賣ノ事

第一千六百八十六條 數人ノ共通スル物件ヲ損失ナク予當ニ分ツテ得サル時又ハ數人ノ共通スル物件ヲ互ニ協議シテ分派シ其分派

ヲ得可キ各人ノ皆己ノ所有ト為スヲ得サ
ル物又ハ所有トスルヲ欲セサル物アル時
ハ糶賣ヲ以テ之ヲ賣拂ヒ其數人ニ其代金ヲ
分ツ可シ

第一千六百八十七條 共通シテ物件ヲ所有スル
各人ハ他人ヲシテ其糶賣ニ管渉セシムルヲ
要ムルノ權アリ又其共通シテ所有スル者
ノ中一人知者ナル時ハ必ス他人ヲシテ其糶
賣ニ管渉セシム可シ

第一千六百八十八條 糶賣ヲ為スニ付テノ法式

ハ此篇第一卷 遺物相及ヒ 訴訟法ニ之ヲ記ス

○第八章 義務ヲ得可キノ權利及ヒ其
他ノ權利ヲ人ニ移ス事

第一千六百八十九條 義務ヲ得可キノ權又ハ訴
訟ヲ為スノ權ヲ人ニ移ス時ハ之ヲ渡ス者ヨ
リ之ヲ讓リ受ケタル者ニ其證書ヲ渡シタルヲ
以テ其權ノ引渡ヲ為シタリトス

第一千六百九十條 權利ヲ讓リ受ケタル者義務
ヲ行フ可キ者ニ其旨ヲ報知シタル上ハ他人
ニ對シテモ亦其權利ヲ讓リ受ケタルト為ス

可シ

又權利ヲ譲リ受ケタル者ハ義務ヲ行フ可キ者公正ノ證書ヲ以テ其權利ノ移リシトテ承諾シタルニ因リ亦他人ニ對シテ其權利ヲ譲リ受ケタルト為ス可シ

第一千六百九十一條 權利ヲ譲リ渡シタル者又ハ之ヲ譲リ受ケタル者其權利ヲ移セシトテ義務ヲ行フ可キ者ニ報知スル前ニ其義務ヲ行フ可キ者其權利ヲ譲リ渡シタル者ニ對シ其義務ヲ盡クセシ時ハ法ニ適シテ其義務ヲ

釋放ヲ得タルモノトス可シ

第一千六百九十二條 義務ヲ得可キノ權利ヲ賣

リ又ハ譲リ渡シタル時ハ保證並ニ「ガリウレ」ノ權及ヒ「イポテリク」ノ權等ノ如ク總テ其權利ニ附帶シタル諸事ヲモ亦包含ス可シ

第一千六百九十三條 義務ヲ得可キノ權利又ハ

其他ノ權利ヲ賣リタル者ハ其賣拂ノ契約ニ別段保證ヲ為ス「ト」ト雖モ其賣拂ノ時ニ當リ其權利ノ現存スル「ト」ヲ證ス可シ

第一千六百九十四條 義務ヲ得可キノ權利又ハ

其他ノ權利ヲ賣リタル者ハ之ヲ買受ル者ニ對シ其義務ヲ行フ可キ者ノ之ヲ盡クシ得可キトテ保證スルニ及ハス但シ其保證ヲ為ス可キトテ別段約束セタル時ハ其賣主已ニ得タル代金ニ充ル迄其保證ヲ為ス可シ

第一千六百九十五條 義務ヲ得可キノ權利又ハ其他ノ權利ヲ賣リタル者其買主ニ對シ其義務ヲ行フ可キ者ノ之ヲ盡クシ得可キノ保證ヲ為ストテ約シタル時ハ其義務ヲ行フ可キ者ノ當時之ヲ盡クシ得可キノミテ保證シ

タルモノト為シ之ヲ後日ニ及ホストナカル可シ但シ其賣主義務ヲ行フ可キ者ノ後日ニ至リ其義務ヲ盡シ得可キトテ買主ニ對シ保證ス可キ旨ヲ別段約シタル時ハ格別ナリトス

第一千六百九十六條 遺物財産中ノ各物件ヲ記列スルトナク遺物相續ノ權ヲ賣リタル者ハ其買主ニ對シ自カヲ遺物相續人タルトシテ保證ス可シ

第一千六百九十七條 遺物相續ノ權ヲ賣リタル

者既ニ其遺物財産中ノ物件ヨリ生シタル利益ヲ所得トナシタル時又ハ其遺物中ノ權利ノ一部ヲ既ニ得タル時又ハ遺物財産中ノ物件ヲ既ニ他人ニ賣渡シタル時ハ遺物相續ノ權ヲ買受ケシ者ニ對シ其償ヲ為ス可シ但シ賣買ノ契約書ニ此類ノ償ヲ為サ、ルヲ別段記シタル時ハ格別ナリトス

第一千六百九十八條 其買主ハ賣主ノ遺物相續ニ付キ擔當シタル義務ヲ盡セシ費用ヲ償ヒ且其他賣主ニ償フ可キ諸件ハ買主ヨリ之ヲ

算計ス可シ但シ之ニ反レタル契約アル時ハ格別ナリトス

第一千六百九十九條 訴訟ヲ為スノ權ヲ有スル者ヨリ他人ニ其訴訟ヲ為スノ權ヲ讓リ渡シタル時ハ其訴訟ヲ受ク可キ者其權ヲ得タル者ニ對シ其讓リ渡シテ得ルニ付テノ代金ト其正當ノ費用ト其權ヲ得ルニ付キ代金ヲ拂フタル日ヨリ以來ノ其息銀トヲ償フニ因リ其訴訟ヲ受クルヲ免カル、ヲ得可シ

第一千七百條 或事ニ管スル權利ニ付キ訴訟又

ハ 爭論ノ起リタル時ハ其事ヲ以テ訴訟アル
モノト為ス可シ

第一千七百一條 左ノ三箇ノ場合ニ於テハ第一千
六百九十九條ニ記シタル規則ヲ用フ可ラス

第一 一箇ノ權利ヲ其賣主ト共ニ人ヨ
リ相續シタル者ニ其權利ヲ賣渡シタ
ル時又ハ賣主ト共ニ其權利ヲ共通ス
ル者ニ其權利ヲ賣渡シタル時

第二 一方ノ者ヨリ他ノ一方ノ者ニ對
シテ義務ヲ盡クスニ代ヘ自己ノ權利

ヲ賣渡シタル時

第三 訴訟アル不動産ノ占有者入額所
得者ノ

如キヲニ其不動産所有ノ權ヲ賣渡シ
タル時

○第七卷 交換ノ事(千八百四十年第三月七日決定同月十七日布告)

第一千七百二條 交換トハ雙方ニテ互ニ物件ヲ授受スル契約ヲ云フ

第一千七百三條 交換ハ賣買ニ等シク雙方ノ者ノ承諾ノミヲ以テ為ストヲ得可シ

第一千七百四條 互ニ交換スル者ノ中一人他ノ一人ヨリ交換ヲ為ス可キノ名義ヲ以テ物件ヲ受取リタル後他ノ一人其物件ノ所有者ニ非サルノ證アル時ハ其物件ヲ受取リタル者

ヨリ交換ノ為ノ他ノ一人ニ與フ可キヲ約
シタル物件ヲ與フルニ及ハス唯其受取リタ
ル物件ヲ返ス可シ

第一千七百五條 互ニ交換スル者ノ中一人他ノ
一人ヨリ受取リタル物件ヲ後ニ他人ヨリ訴
訟ヲ受ケ奪ハレタル時ハ他ノ一人ヨリ其損
失ノ償ヲ得又ハ己ヨリ與ヘタル物件ヲ取戻
スヲ自由ナリトス

第一千七百六條 互ニ交換スル一方ノ者ノ為メ
損失アリト雖モ交換ノ契約ヲ取消スヲ得

ス

第一千七百七條 其他賣買ノ契約ニ付キ定メタ
ル規則ハ交換ノ契約ニモ亦通シテ之ヲ用フ
可シ

辻士革筆受

佛蘭西民法十二終

法律書

刑部

